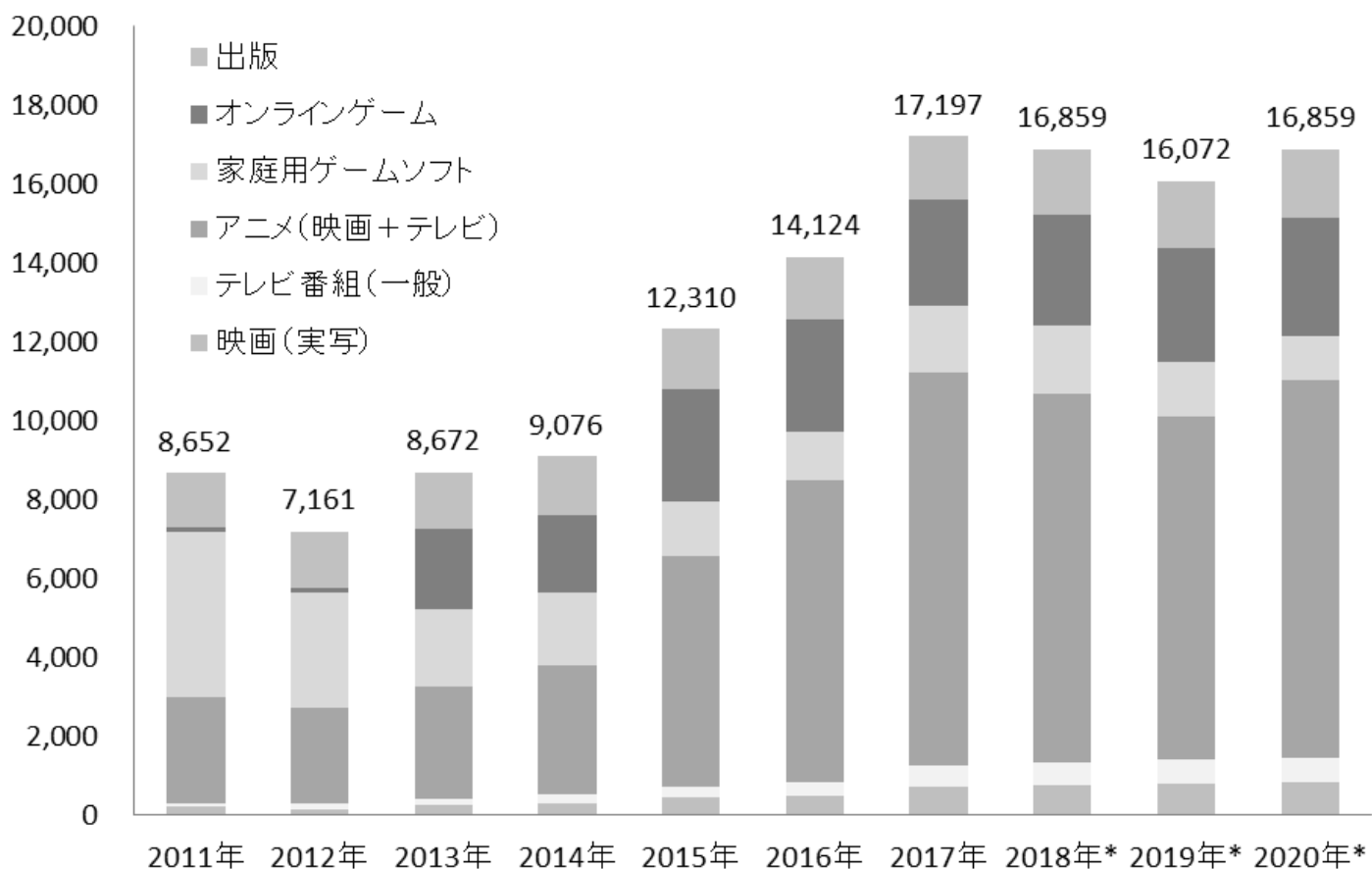


日本コンテンツの海外市場は2017年までの7年間で2倍に拡大、2020年までこの規模を維持

日本から輸出され、海外で消費された日本コンテンツの市場規模は、2011年に8,653億円であったが、2017年には1兆6,588.6億円と倍増、2020年までこの規模を維持すると予測。

分野別の規模では最も大きいのがアニメ(劇場版とテレビシリーズ、映像ソフト・配信売上・商品化等含む)で、2011年の2,669億円から、海外配信の伸びで2017年に9,948億円の実績、2020年には1兆1,200億円まで拡大すると予測。次いでスマホ向けアプリのオンラインゲーム、続いて家庭用ゲームソフトとマンガの印刷出版・配信が8割を占める出版が並ぶ。

日本コンテンツの海外市場の2011～20年の推移・予測(単位：億円)



*は予測値

出典：各種統計よりヒューマンメディア推計